

令和6年度 公民科 「公共」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組
教科書	詳述 公共（実教出版）	副教材等	ズームアップ公共資料（実教出版）

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
前期	4	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	1. 生涯における青年期の意義 2. 青年期と自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 4. 現代社会と現代の生き方	・青年期の特徴を理解する。 ・パーソナリティの理論や青年期の発達課題を理解する。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。 ・日本人の伝統的な考え方や人間関係の特徴について理解する。	定期考査 課題提出 (夏季休業課題あり)	
	5	第2章 人間としてよく生きる	1. ギリシアの思想 2. 宗教の教え 3. 人間の尊重 4. 人間の自由と尊厳 5. 個人と社会 6. 主体性の確立 7. 他者の尊重 8. 公正な社会	・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。 ・三大世界宗教のそれぞれの特徴を理解する。 ・中世末期から近代初期のヨーロッパでうまれた新しい人間観や世界観を理解する。 ・自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・社会の改良や改革を唱えた、功利主義と社会主義の主張を理解する。 ・実存主義の思想家たちの人間観を理解する。 ・他者について思索した思想家たちの主張を理解する。 ・公共性の確立について思索した思想家たちの主張を理解する。 ・社会の公正なあり方について思索した思想家たちの主張を理解する。		
	6					
		第1回考査	出題範囲：教科書p. 6-49、資料集p. 8-60			
	7	第3章 社会とは何か 第4章 民主国家における基本原理	1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 1. 人権保障の発展と民主政治の成立 2. 国民主権と民主政治の発展	・人間の尊厳と平等といった原理の背景にある考え方を理解する。 ・個人の自由や権利がどのように認められるのかを理解する。 ・基本的人権の歴史的発展について理解する。 ・民主政治の意義と課題について理解する。		
	8	第2編より良い社会の形成に参加する私たち 第1章日本国憲法の基本的性格	1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義とわが国の安全 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり	・憲法の最高法規性について理解する。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ・日本国憲法が保障する基本的人権について理解する。		
	9	第2章 日本の政治機構と政治参加	1. 政治機構と国民生活 2. 人権保障と裁判所 3. 地方自治 4. 選挙と政党 5. 政治参加と世論	・国会と内閣の構成について理解する。 ・司法権の独立や裁判について理解する。 ・地方自治の本旨について理解する。 ・各選挙制度の特徴と課題について理解する。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。		
		第2回考査	出題範囲：教科書p. 50-145、資料集p. 61-169			

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
後 期	10	第3章 現代の経済社会	1. 経済社会の形成と変容 2. 市場のしくみ 3. 現代の企業 4. 経済成長と景気変動 5. 金融機関の働き 6. 政府の役割と財政・租税	・資本主義経済成立、発展の時代背景を確認する。 ・市場経済の機能と限界を理解する。 ・企業の形態や活動、株式会社の特色、グローバル化による企業の経営環境の変化や課題などについて理解する。 ・経済の動きの指標としてのGDP、国富について理解するとともに、経済成長、景気循環、物価について理解する。 ・金融市場の仕組みと金利の働き、銀行、証券会社、保険会社など各種金融機関の役割を理解する。 ・政府の財政活動の役割、財政政策、租税の仕組みについて理解するとともに、財政に関わる課題について理解する。	定期考查 課題提出	
	11	第4章 経済活動のあり方と国民福祉	1. 日本経済の歩みと近年の課題 2. 中小企業と農業 3. 公害防止と環境保全 4. 消費者問題 5. 労働問題と雇用 6. 社会保障	・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を理解する。 ・中小企業や農業の現状と課題を理解する。 ・経済成長と公害問題の歴史を理解し、環境保全のための対策を考える。 ・消費者問題を理解し、必要な法整備と消費者の責任について考える。 ・職場環境や労働者の諸権利について理解する。 ・日本の社会保障制度のしくみを理解し、今後の社会保障制度のあり方を考える。		
	12	第3回考查	出題範囲：教科書p. 146-229、資料集p. 170-281			
	1	第5章 国際政治の動向と課題	1. 国際社会における政治と法 2. 国家安全保障と国際連合 3. 冷戦終結後の国際政治 4. 軍備競争と軍備縮小 5. 異なる人種・民族との共存 6. 国際平和と日本	国際政治や国際法の概要を理解し、領土問題が生じる背景と望ましい解決方法について考える。 国際連合の主要機関や専門機関の働きと現代の課題を理解する。 冷戦の終結後の国際社会の力学の変化について理解する。 第二次世界大戦後の軍備拡大と安全保障のジレンマを理解する。 民族をめぐる対立の原因をナショナリズムや自民族中心主義との関係から理解する。		
	2	第6章 国際経済の動向と課題	1. 国際経済のしくみ 2. 国際経済体制の変化 3. 経済のグローバル化と金融危機 4. 地域経済統合と新興国 5. ODAと経済協力	貿易と為替相場の基本を理解し、輸出入や国際的な資金移動が日本経済に与える影響を考える。 国際経済体制の歴史的な経過を理解し、現代の課題を考える。 経済のグローバル化と金融活動が国際経済与える影響を理解する。 地域経済統合の進展と新興国の経済成長を理解する。 ODAからSDGsにつらなる援助と開発の過程について理解する。		
	3	第4回考查	出題範囲：教科書p. 230-289、資料集p. 282-351			

3 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

定期考查においては、知識・技能を問う問題、思考・判断・表現を問う問題をそれぞれ出題し、評価を行う。課題提出により、思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度を評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

「公共」という科目は、「人間とは何か」「社会とは何か」という問いに対して、あなたが自分の考えで回答できるようになるための、知識、技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力を育成します。この授業は予習が行われていることを前提として実施します。あらかじめ授業該当部分の教科書を読んで理解し、スライドファイルを見てスライド対応プリントを完成させてから授業に臨んでください。